

川喜田半泥子の精神を継ぐ陶芸家

坪島土平展

— 心の陶 —

2019年

9月15日 日 ~ 10月27日 日

休館日：月・火曜日（祝日は開館）

開館時間：午前9:30～午後5:00（入館は午後4:45まで）

入場料：一般600円（前売り400円）、高大生300円、中学生以下無料

※65歳以上の方は年齢確認ができるものをご提示いただければ前売り料金となります。

※障害者手帳をご持参の一般の方はご本人と同伴者1名様まで前売り料金となります。

主催：ミウラート・ヴィレッジ（三浦美術館）

協賛：株式会社ミウラ

後援：愛媛県教育委員会、松山市教育委員会、愛媛新聞社、南海放送、テレビ愛媛、あいテレビ、愛媛朝日テレビ、愛媛CATV、FM愛媛

作品：左上／《金彩彩透し流水鳥壁面花器》2011年、右下／《金彩赤絵獅子滾ぶち大皿》2009年

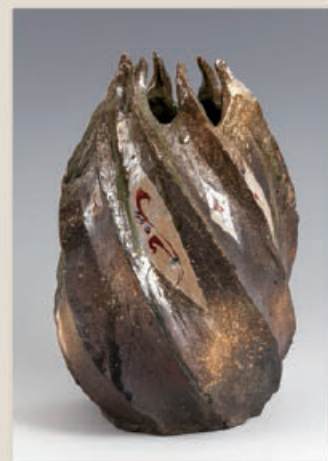
MIURART VILLAGE
MIURART



水墨画《江村帰帆》



《金彩赤絵鹿紅葉透し長皿》2011年



《金霧彩象嵌赤絵捻り花器》2010年

ミウラート・ヴィレッジでは「坪島土平展 一心の陶一」を開催いたします。坪島土平氏(1929-2013)は17歳で「東の魯山人、西の半泥子」と称される川喜田半泥子に弟子入りしました。半泥子は常に土を尊び、「やきものは人間の生き方の反映」という信念で心のままに作陶しました。土平氏が34歳の時に半泥子が亡くなり、その若さで半泥子の窯「廣永窯」を継ぐこととなりますが、偉大なる半泥子の作陶精神を後世に残すべく廣永窯の発展に努めながらも、自身の陶芸とは何かを追求し続けました。土平氏は半泥子が茶陶中心の世界であったのに対し、料理を美しく盛る「食器」を独自の世界観で制作するようになり、絵付け、大胆な透し、土に磁器を埋め込む象嵌技法を用いて、土平氏の考える「用の美」を兼ね備えた作品を作り上げました。使い手に寄り添い、且つその使い心地以上に焼き物として魅了してやまない作品は、土平氏の焼き物に向き合い、そして思いやる「心」そのものです。本展では、このような作品をはじめ、土平氏が得意としていた大壺や灯籠など約70点展示いたします。ぜひこの機会に御覧ください。



《黒織部花入》2004年



《金霧彩揺落し福郎花器》2005年



《灰被伊賀茶器》2011年



《灰被志野印花水指》2000年



《色絵花鳥切落し鉢》2010年



《染付花鳥四方蓋物》2010年

関連イベント

「半泥子廣永窯ギャラリー」

会期中、土平氏の薫陶を受けた弟子達の作品を中心に、半泥子廣永窯の普段使いの品を販売いたします。ぜひ、お手にとってご覧ください。

次回展覧会

三浦工業60周年記念 三浦洋三写真展

2019年11月6日(水)～11月20日(水)

※会期中無休・入場無料

同時開催 一色茂雄展(2F展示室)



アクセス

◆JR松山駅から市内電車にて松山市駅へ、伊予鉄バス北条行き「内宮バス停」又は「花見橋バス停」下車 徒歩約15分
◆松山空港から約11km ◆松山I.C.から約16km ◆今治I.C.から約35km

MIURART VILLAGE
MIURART

ミウラート・ヴィレッジ(三浦美術館)

〒799-2651 愛媛県松山市堀江町1165-1

TEL089-978-6838 FAX089-978-0323

<http://www.miuraz.co.jp/miurart>

E-mail:miurart@miuraz.co.jp

駐車場:30台と土・日・祝日は臨時駐車場(三浦工業
福角駐車場約250台)をご利用いただけます。